

【巡回指導〈2〉】会津若松市立 第三中学校

日程：2018年2月10日（土）

参加者：若松第三中学校（10名） / 善澄先生

指導者：小野章三（元堺ブレイザーズ）

同行者：事務局 / 松尾英紀、小色尚子 会員：(株)カナメ 1名



巡回指導2回目、体育館に入るとブロックの練習をしており、それを見た小野コーチが早速、指導に入りました。「君たちは何の練習をしているの？ただ掛け声に合わせてステップを踏んで跳んでいるのは、ブロックの練習とは言わないよ。意味のある練習をしなければ、ただの時間の無駄使い。何のための練習なのか理解すること、それをちゃんと考えてやろう」と、手の使い方、目線、ステップ、跳び方、ボールを捉える姿勢、タイミングなど、細かく何度も指導しました。



対面レシーブの練習では、小野コーチがそれぞれに指導しました。また、チームとしての悩み、指導して欲しい要望を生徒たちに聞きました。「フォーメーションについて、トスが上手く上がらない、セッターからのスパイク」などの課題に小野コーチが応えます。コート内での移動のタイミング、スピード、視線について。セッターにはタイミング、ボールを持って行きたい方向にボールを上げるための体の使い方などを伝えました。ゲーム形式では、ボールを人に任せってしまう場面が何度か見られ、小野コーチから「バレーはチームでやるんだよ！自分を信じろっ、仲間を信じろよっ！」と叱咤の言葉が！その言葉の後のプレーでは、チーム全員で1つのボールに向かう気持ちが出ていました。



指導終了後は、みんなでトークワークをしました。最後に小野コーチから「自分で自分をコントロールできるように自分を知ることとはとても大切なこと。みんなはやれば出来る子、自分たちの目標に向けて頑張っ欲しい」と話がありました。事務局の松尾さんからは「感謝することは、心が豊かになって人に優しくなれる。周りに感謝する気持ちを忘れずに、仲間を大切にしたい」と言葉がありました。チーム一丸となって自分たちの目標に向かって頑張っ下さい！